



氷が張られる前の滑走レーンの下地に冬季アジア札幌大会のロゴマークが入れられた (新井拓海撮影)

滑走レーンにロゴマーク

明治オーバル「冬季アジア」へ準備着々

2017冬季アジア札幌大会(来年2月19、26日、アジアオリンピック評議会主催)のスピードスケート会場となっている明治北海道十勝オーバルで9日、製氷される前の滑走レーンに大会ロゴマークを貼り付ける作業が行われた。24日の今季オープン後、お披露目される。

ロゴマークは滑走レーンのホームストレット側に入れられた。縦2・5メートル、横2・1メートルの北海道の形を模したエンブレムと、縦1・5メートル、横12・9メートルの大会名称が記された横断幕から成り、全長は15・2メートル。

大会名称は「2017 SAPPORO ASIA

WINTER GAMES CITY OF OHTA

BIHORO」。大会主催者から受注した広告事業などを手掛けるティワイネット(帯広、大浦辰雄代表)の従業員4人が作業に当たり、レーンの下地に布地のロゴマークを1時間半かけて貼り付けた。同社の齊藤政樹専務は「大会に向け、PRになれば」と話していた (内形勝也)